

日本パペットセラピー学会第19回大会 プログラム

パペットセラピーの豊かな可能性 ～それぞれの場で寄り添うパペット～

10月19日（日）9:30～16:00

●開 場 9:15

総合司会 高村 豊（副理事長）

●開会の辞 9:30～9:33

東 義也（理事長）

●大会長挨拶・講演 9:33～10:23

「パペットセラピーの豊かな可能性を探る～それぞれの場での実践を通して～」

講師 矢崎 育子（山梨腹話術研究会パペット合唱団主宰）

座長 東 義也（理事長）

●教育講演 10:30～11:20

「認知症の備えとケアにおけるセラピーの可能性～オレンジカフェとパペットセラピーの効果～」

講師 狩野 英美（元山梨県立看護実践開発研究センター主任教員

公益社団法人山梨県看護協会訪問看護ステーションほっと・ほっと韮崎

認知症看護認定看護師）

座長 中下 富子（副理事長）

＜ 昼 食 ・ 休 憩 ＞ 11:30～12:40

●一般演題 12:40～13:25

座長 高村 豊（副理事長）

発表者（各発表10分・質疑応答5分）

口演1「医療機関でパペットセラピーを活用した認知症ケアの実践報告」

塩川 幸子（医療法人財団湖聖会 湖山リハビリテーション病院・認知症看護認定看護師）

口演2「非行/犯罪被害少年とその家族を対象としたパペットセラピーワークショップ」

森平 直子（東京科学大学保健管理センター）

口演3「通所施設を利用している在宅重症心身障害者へのパペットセラピー」

中下 富子（群馬パース大学看護学部）

●シンポジウム 13:30～14:28

「なぜパペットセラピーなのか～パペットセラピーだからできること～」

コーディネーター 岡 信行（理事）

シンポジスト

「現場で生きる腹話術とパペットの可能性」

中西 けい子（腹話術師）

「集団を対象としたパペットセラピーの実践」

千葉 俊一（腹話術教室シャロームパペット仙台主宰）

「パペットセラピーは楽しくて豊かなコミュニケーションツール」

中澤 綾（腹話術研究会パペット合唱団）

＜ 休 憩 ＞ 14:30～14:42

●ワークショップとディスカッション 14:42～15:40

「パペットセラピーの豊かな可能性を探る～それぞれの場で寄り添うパペット～」

コーディネーター 出山 雅章（理事）

ワークショップ

「パペット合唱団と歌おう」

矢崎 育子（山梨腹話術研究会パペット合唱団主宰）

「パペットでアイスブレイク」

東海林 照子（笑顔がいっぱい保育腹話術てるぼ主宰）

●閉会の辞 15:45～15:55

高村 豊（副理事長）

総会 16:00～16:35

議長：東 義也（理事長）

書記：岡 信行（理事）